

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ビックママ スーパーキッズ				公表日	2025年2月12日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		支援室の隣室も利用することができ、こどもの状況や活動内容に応じて児童が利用するスペースを分けています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・常勤の職員が適切に配置されています。 ・こどもの状況に合った活動の質を向上させるために非常勤の配置についても積極的に行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・階段の手摺りが、高さ違いで2段あり、成長に合わせて利用することができます。 ・どのような活動に使う場所なのか視覚的に示すよう工夫しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の清掃、アルコール消毒を徹底しています。 ・椅子、テーブルの高さは2種類で、成長に合わせて利用できるようになっています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要に応じて、隣室を個別の部屋としても使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・職員間で適切なコミュニケーションが図られており、様々な視点で業務改善に取り組んでいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・事業所評価アンケートで保護者の意向を把握し、職員間で共有、分析し、業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・支援の方法など、その都度職員間で話し合いを行っています。 ・事業所自己評価表をもとに職員の意見、考えを把握し、業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在のところ、第三者による外部評価は実施しておりません。必要性を検討した上で体制を整えたいと考えています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・年間計画に基づいて社内研修（初任者研修、BCPなど）を行い、外部研修への参加の機会も設けています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		・支援プログラムの作成については、児童発達管理責任者を中心に適切に行われています。今年度中に公表できるように準備しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・計画期間ごとにモニタリングを行い、利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・子どもの発達状況や支援の効果を把握するために、定期的なモニタリングや評価を行い、職員間の共通理解を図っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画は職員に共有され、それぞれの支援内容に沿った支援を行っております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・すべての利用者に対して、日々の活動の様子や保護者からの情報収集を通じてアセスメントが行われています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・「本人の支援」については子どもの個別ニーズに応じた具体的な支援内容が設定されています。家庭での支援方法の提供や地域のリソースの活用などについても支援計画に設定します。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動プログラムは職員のアイデアを取り入れ、準備等を分担することでチームで作り上げるようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・理学療法士による週2回の運動プログラム、季節にちなんだ工作、ゲームなど、利用者の実態に合わせて工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・こどもの発達段階に応じた個別、集団における課題を見つけ、個別支援計画に反映させています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・その日の支援内容や役割分担について確認する機会を設け、利用者の状況や変化を職員全体が把握できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・送迎終了後に職員で保護者からの連絡事項やその日にあった出来事を話す機会を設け、情報交換を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・職員間で共有したことを基に、利用者個人の支援記録を毎日作成しモニタリングに活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		概ね6か月に1回以上モニタリングを行っています。こどもの状態や家庭状況に変化があった場合には、6か月を待たずにモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		・「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせた支援は、適切に提供されています。こどもたちの多様なニーズに応えることができるような支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・子どもが自分で決めたことを実行できるようにサポートしています。選んだ活動を一緒に楽しむことで、成功体験を積み重ねられるような支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・勤務体制を調整し、子どもと日常的に接している職員が参加することができるようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・地域の保健、医療、福祉、教育などのリソースをマッピングし、必要な支援を迅速に提供できるようにしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・行事予定や下校時間、送迎時の対応などは主に保護者の方と情報共有しています。必要に応じて学校に確認しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・必要に応じて保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所の担当者と情報交換することにより、子どもの状況や支援計画について情報を共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・子どもの個別支援計画やアセスメント結果を新しい障害福祉サービス事業所に引き継ぎ、継続的な支援が可能になるよう適切な情報提供を行います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・必要に応じて、児童発達支援センターと連携を図り、現場での支援方法や課題について相談したり、助言を受けたりすることができる環境があります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・放課後児童クラブとの交流の機会を週に2回設けています。	・地域連携においては、今後取り組めるよう計画してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		・年1回開催で夏季休業中の外出活動日だったため今年度は参加することができませんでした。必要に応じて自立支援協議会へ参加したいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳で日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にもその都度活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・家族向けの定期的なニュースレターに、最新の支援情報やイベント情報を提供するなど工夫したいと考えています。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担額等について説明を行い、質問等あればその場で答えています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・子どもや保護者との必要に応じた面談を通じて、現在の状況や希望を直接確認することにより、子どもや保護者の意見を反映した支援計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・面談時に支援内容の説明を行い、保護者の方から同意していただいたうえで署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・面談だけでなく、必要に応じて電話やメール、送迎時などにも相談を受け付けており、支援方法などを提案しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・現時点で父母の会、保護者会などは開催しておりません。今後必要となった際、検討したいと思います。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・利用者が苦情を申し出やすい環境づくりに配慮しています。苦情があった場合は、その内容に応じて対応策を検討し、解決に向けて努めます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・月1回のSK通信、Instagramを通して発信しています。今年は動画で活動の様子を配信させていただきました。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が記載されている書類等はすべて鍵付きの書庫に保管しています。 ・廃棄書類等は溶解処理を専門業者に委託しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・状態に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通ができるよう努めています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・今後保護者からの要望があれば、検討をしていきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを作成し、利用者やご家族の方が内容を共有できるようホームページに掲載しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・災害時に重要な業務を継続するための計画を策定し、職員に周知徹底し、計画に沿って訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・薬等の必要な子どもの保護者からの情報を職員間で共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・対象となる利用者がある場合には適切に対応します。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全衛生計画を作成し、定期的な研修により職員に周知徹底しています。物理的な安全対策（非常口の確保など）により、利用者や職員の安全を確保しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全衛生計画を作成し、保護者にはホームページを通して周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットが発生した場合、職員が迅速に報告し、事業所内で情報を共有しています。事態が再発しないよう対策を講じていることができています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止に関する研修を定期的実施し、職員が最新の知識と対応方法を学べるようにしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		・身体拘束をやむを得ず行うケースについて職員間で情報共有しています。保護者については、個別の支援計画に記載し、説明することで了解を得たいと考えています。